



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

体力、気力、努力

新年が明けたばかりの 1 月 8 日に、女子レスリングの吉田沙保里選手の現役引退のニュースが発表されました。吉田沙保里さんは 2004 年のオリンピックから三大会（アテネ、北京、ロンドン）連続での五輪 3 連覇、そして世界選手権 10 連覇の偉業を達成し、2012 年には国民栄誉賞も授与された、日本スポーツ界を牽引してきたスター選手です。前回の 2016 年のリオデジャネイロオリンピックでは、日本選手団の主将を務め、53 キログラム級決勝戦で惜敗し銀メダルでしたが、「試合で敗れた」ことがビッグニュースになるという、世界に敵なし、勝って当たり前と誰もが考える大選手でした。

「霊長類最強女子」との愛称でも親しまれ、リオオリンピック後にはテレビのバラエティ番組へも数多く出演していました。その姿からは、レスリングの強さの内にある、明るいキャラクターや優しい人柄が感じられました。

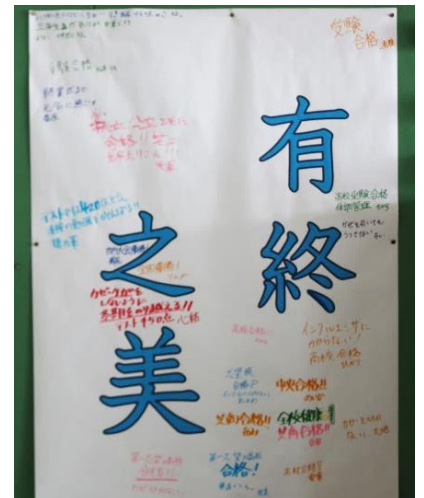
吉田選手がレスリングを始めたのは 3 歳の頃で、全日本チャンピオンだった父・栄勝さんの指導の下、二人の兄と一緒に練習に励んでいたそうです。練習中に父に叱られる度に涙をこぼし、5 歳で初めて出場したちびっ子大会では、優勝選手の金メダルを見て、父親に優勝選手と同じ金メダルが欲しいとせがんだそうです。しかし、そんな吉田選手に対して、父親の栄勝さんは、「あのメダルは、がんばって強くなった人しかもらえない。スーパーやコンビニでは売ってもらえないんだよ。」と言い聞かせたそうです。その言葉を力に変えて、吉田選手は、約 20 年後のアテネオリンピックから連続 3 大会で金メダルを獲得しました。銀メダルに終わったリオオリンピック決勝戦直後のインタビューでは、その 2 年前に急逝した父親を想い、「ごめんなさい。お父さんに怒られる」と父親に詫げる言葉がありました。

そんなオリンピックが、来年 2020 年には東京で開催されます。吉田選手の突然の引退を惜しむ声が多く聞かれましたが、先日全日本卓球選手権で女子個人戦準優勝に輝いた中学 2 年生の木原美悠選手や、全豪オープンテニスで優勝した大坂なおみ選手など、新たなメダル有望選手が誕生しています。

今年 1 月からは NHK で、日本人として初めてオリンピックに出場した金栗四三（かなくりしろう）さんを主人公にした「いだてん」という大河ドラマが始まりました。金栗四三は、1912 年のストックホルムオリンピックに出場したマラソン選手、そして、1 月の大きなスポーツイベントである「箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走大会）」の創始者としても知られています。金栗さんの残した有名な言葉として、「**体力、気力、努力**」があります。

この言葉は、何かにチャレンジし、立ち向かっていくためには、まず「元気な体」が必要であり、次に、目標をもって頑張ろうという気持ち「気力」の高まりが大切になってきて、その「体力」と「気力」の充実があつてはじめて「努力」ができる準備が整う、ということを表しています。

私たち一人一人が 2019 年という新しい一年をより豊かな日々にしていくためにも、心に留めておきたい一言です。（参考資料：朝日新聞「天声人語」（2019 年 1 月 10 日発行）から）



生徒玄関脇に掲示された 3 学期の期別目標 「有終之美」

各学年代表生徒 「新年の抱負 & 3学期の決意」

1月7日（月）に、3学期がスタートしました。3年生にとっては授業日数43日間、1・2年生にとっては52日間の、平成30年度の総まとめの学校生活です。2019年の中学校生活の始まりにあたり、各学年代表が、今年の決意や3学期にがんばりたいことを話してくれました。

冬休みにがんばったことと3学期の目標 1年生代表 E

僕が冬休みに頑張ったことが二つあります。一つ目は、2学期に行われた期末テストの復習をがんばりました。2学期の期末テストは1学期の期末テストよりも点数が低くなったからです。その時、僕は悔しいと思い、冬休み中に自主学習を毎日ノート2ページ分以上取り組むことを目標にしました。他にも、冬休みの課題を一回取り組んだだけで終わらせるのではなく、何回も繰り返しやりました。何回も繰り返すことで、英語の単語やキーワードなどが覚えられるようになりました。二つ目は、部活動です。冬休み中の部活動では、毎朝、学校の中を10周走りました。僕は吹奏楽部に所属しているので、肺活量を鍛えるためにも、これからも毎日10周走りたいです。

3学期の目標は二つです。一つ目は、2月にある単元別整理テストで満足のいく結果を残すことです。2学期の期末テストの点数よりよい点数をとれるように頑張りたいです。僕は、5教科の中でも社会と国語が苦手です。社会では、歴史よりも地理の方が苦手なので、地理の苦手な部分を何回も自主学習で練習したいです。そして、国語では漢字の勉強をがんばりたいです。漢字は、部首などをしっかりと覚えられないので、自主学習でちゃんと覚えられたいです。二つ目は、体力テストに向けて体力を付けることです。握力があまり付いていないような気がするので、体力を付けていきたいです。他にも、僕はソフトボールを投げるのが苦手なので、今年はソフトボール投げでよい結果が出せるようにがんばっていききたいです。



3学期に頑張りたいこと

2年生代表 W

僕が3学期に頑張りたいことは二つあります。一つは、家庭学習の強化です。僕は、授業で出された課題がある時や、親に勉強するようにと勧められた時に勉強しますが、自分から進んで予習や復習をしたことは、これまでに一切ありませんでした。そこで、3学期からは心機一転して、自分でワークに取り組むなどの、自分からする家庭学習をしていきたいです。そして、その成果を3学期の定期テストや来年の受験に生かしていきたいです。

もう一つは、睡眠時間の確保です。2年生になってから、僕は就寝時間がかなり遅くなってしまいました。その理由は、メディアの長時間の使用にあります。毎回、「あと一回やったら終わろう」と思い、それが30分、1時間と続いてしまっているのです。これからはメディアの使用時間にしっかりと区切りをつけていきたいです。そのためにも、「メディアを使うのは〇時まで。それ以降は絶対にしない」と自分自身に制限をかけることを心がけていきたいです。そうすることで出来た時間を、一つ目の「家庭学習の強化」に当てていきたいです。

冬休みの反省と3学期の抱負

3年生代表 K

この冬休みはまとまった学習ができる大きなチャンスだったのでスムーズに勉強が始められるように、冬休みに入る前に一日のスケジュールを作りました。いざ冬休みが始まって、その計画通りに勉強をしてみると、設定した量が多すぎて思ったように学習を進められず、逆にあせってしまいました。そこで、一日に学習する量を少し減らし、優先順位を付けて勉強するように変えました。計画段階で、学習したい内容を積み込み過ぎてても良くないということが分かり、それからは、メリハリをつけて勉強するように心がけました。



生活面では、朝に強くなることを冬休みの目標にしていたので、夜型から朝型に変えるようにがんばりました。冬休みの後半には決まった時間に自然と目が覚めるようになったのでよかったです。3学期は、この冬休みに身に付けた規則正しい生活リズムを維持して、体調管理にも気を付けて元気に過ごしたいです。残り少ない中学校生活の一日一日を大切に、充実した3学期にしたいです。

3学期は、志望校合格に向けてしっかり力を付けられるようにがんばろうと思います。苦手分野に重点を置いて勉強して、万全な状態で受験に臨めるようにしたいです。また、3年間の集大成ともいえる卒業式があります。今までの感謝の気持ちを込めて、式に臨みたいです。

新しいALTのジャン先生を紹介します

昨年12月末で、ALT（英語指導助手）として勤務していたR先生が母国に帰国されました。今年1月からは、新たに、J先生から佐々木中学校に勤務していただくこととなりました。

・・・・・・新しいALTの自己紹介・・・・・・

Hello. I have lived in Shibata for 12 years. I am interested in Japanese language and Japanese culture since when I was in a university, so I studied Japanese as my selective subject at that time. I like the country, the people, especially here in Shibata. I love both the atmosphere and people who are very friendly and helpful.

I love children. I enjoy talking and teaching them. I am very happy to become an ALT here. I hope we can make our class filled with fun together.



こんにちは。私は、新発田に来てから12年が経ちます。私は、大学生の時から日本語と日本の文化に興味を持って、その頃に、選択教科として、日本語の勉強を始めました。私は、日本が好きですし、特にここ新発田の人たちが好きです。新発田の雰囲気や、とても親しみやすく親切な新発田の人たちが大好きです。

私は子どもたちが大好きです。子どもたちと会話したり、いろんなことを教えたりすることが楽しいです。私は、佐々木中学校のALTになることができてとてもうれしいです。生徒のみなさんと一緒に、英語の授業を楽しみたいと思います。

体力・運動能力テストで全校生徒の34%がA評価でした。

毎年春に、全国の小中学校で、児童生徒の体力・運動能力を測定する「体力テスト」が実施されます。中学生を対象とした調査では、「握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ」の8種目で実技調査が行われており、8種目の合計値が、総合評価標準の一定の基準(学年ごと)以上に達した生徒は「A段階」と認定され、新潟県教育委員会から「トキめき体力づくり認定証」が授与されます。

佐々木中学校では、全校生徒67名中の23名(約34パーセント)が「認定証」を授与されました。女子の結果に限ると、在籍女子生徒全体の53パーセントに認定証が授与されるというすばらしい結果でした。また、昨年度はA評価に届かなかった生徒の中でも、2年生2名、3年生4名が新たにA評価の認定証を手に入れました。(昨年度A評価と認められた2・3年生は、全員が今年もA評価の認定を受けることができました。)これからも、毎週、部活動休止日に行われる佐中サーキットに励み、来年度も好結果を目指しましょう。

	1年生	2年生	3年生
男子	0名	2名 I S	4名 S Y R T
女子	2名 K T	8名 I R K G H T N M	7名 S I R K A H Y



3年 TR 僕は家でも毎日、上体起こしのトレーニングをしたり、夏場には体幹トレーニングやランニングをしたりして、体力づくりに励んでいます。下級生の皆さんには、学校だけではなく家でも自主的にトレーニングに励むことを奨めます。

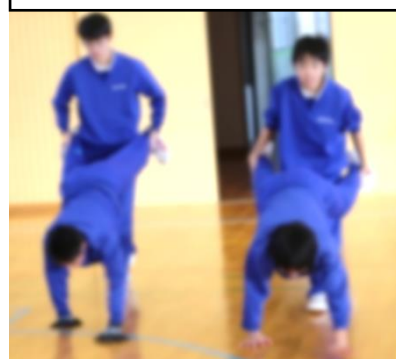
3年 TY 僕は硬式野球のチームに所属しているので、冬場にはダッシュを繰り返したりして体力を付けました。得意な種目の記録をさらに伸ばすように努力することも大切です。「出来ない」「伸びない」と弱気な考えをもたないことも大事です。

3年 NA 私は昨年よりも成績が向上し、今年もA評価の認定を受けました。体力テストでは、本番の時に「本気を出すこと」が大切です。すぐに諦めたり、自分の限界を自分でつくらずに、何度も繰り返しチャレンジしたり粘り強く体力テストに取り組むことが好成績につながります。

3年 SY 僕は3年生になって2年生の時よりも身長が伸び身体が成長した分、体力が付いてきました。佐々木中学校全体の体力テストの結果が向上しているのは、佐中サーキットの成果にちがいません。僕は、毎週の佐中サーキットで取り組む十種類のメニュー全てに力を抜かずに取り組むことが必ず体力アップにつながると 생각합니다。単調で、手を抜きたくなる「バービー」のような種目にもしっかりと取り組み、頑張る姿勢こそが大切です。



がんばれ！佐中サーキット



新専門委員長 & 生徒会総務への委嘱式が行われました

1月28日（月）の全校朝会で、来年度の新専門委員長と新総務員に、生徒会長の木滑萌果さんから「委嘱状」が手渡されました。

委嘱状を手渡された生徒たちに、これから始まる生徒会活動への「意気込み」を聞きました。

生徒会総務 2年 G 私は、今まで以上にもっと積極的に行動したり、発言したりして生徒会活動に貢献できるように、自分から進んで、与えられた以上の仕事に取り組んでいきたいです。

生徒会総務 2年 S 私は、今までの生徒会のイメージにとらわれ過ぎずに、自分からどんどん意見を言ったり、行動したりして、もっと新しいことに取り組み、今年度の生徒会以上にもっと活性化させていきたいです。

生徒会総務 1年 N 私は、全校のみなさんのために率先して活動し、今よりも笑顔のあふれる佐々木中学校を作っていきたいです。

生徒会総務 1年 T 今全校のみんなが自分から行動できるように、まず私から、全校道徳や生徒会行事では、積極的に発言したり、行動したりしていきたいです。

新広報委員長 2年 T 私は、生徒のみなさんが今まで以上に学校生活を過ごしやすいうような「よりよい空間や時間」をつくりたいです。例えば、図書室でのお昼休みが、みんなが楽しく過ごせる安らぎの時間になるように、給食の時間の教室が、音楽や連絡を聞きながら美味しい給食を楽しく食べられる空間なるような工夫を考えたいです。

新保健体育委員長 2年 Y 私は、今年度の委員長が取り組み始めた「給食後の歯みがき」の運動をさらに改善し、給食後に歯みがきに取り組む全校生徒の割合が増えていくような新しい活動を考えて、取り組んで行きたいです。

新整美ボランティア委員長 2年 I 今まで一人の委員として活動に取り組んでいましたが、これからは委員長としての責任をしっかりと果たしていけるように、他の委員を引っ張りながら、学校の生活環境を今以上に美しくしていきたいです。



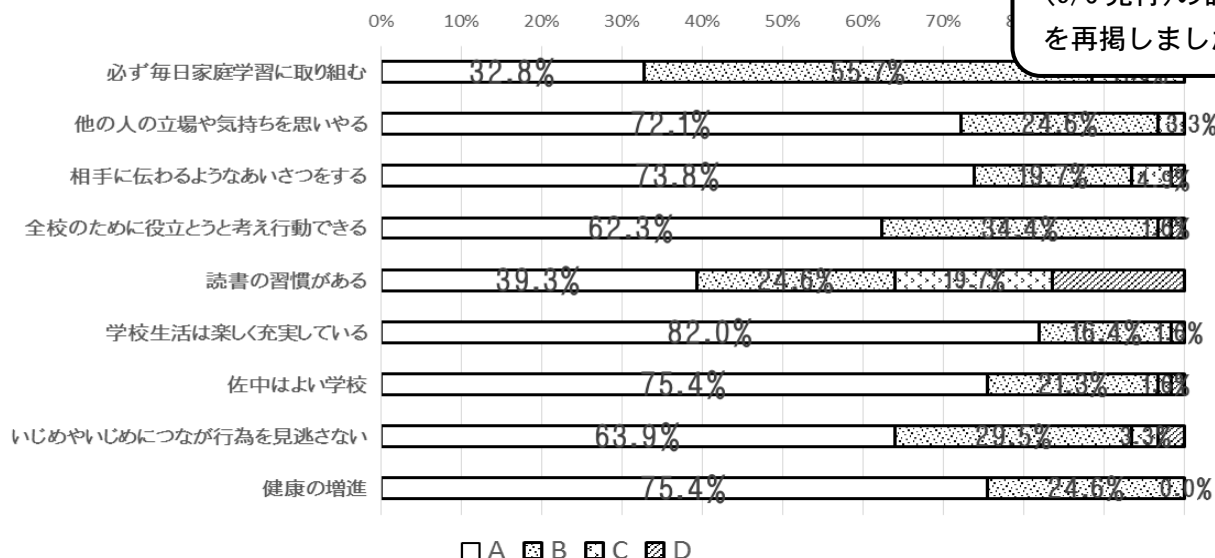
平成30年度前期学校評価① 保護者と生徒の回答から

佐々木中学校では、年2回（前期：7月、後期：12月）の学校評価を実施し、教育活動や学校運営の改善に役立てています。7月に実施した「前期学校評価」の回答結果のうち、生徒を対象に行った評価と保護者を対象に行った評価の結果をお知らせします。

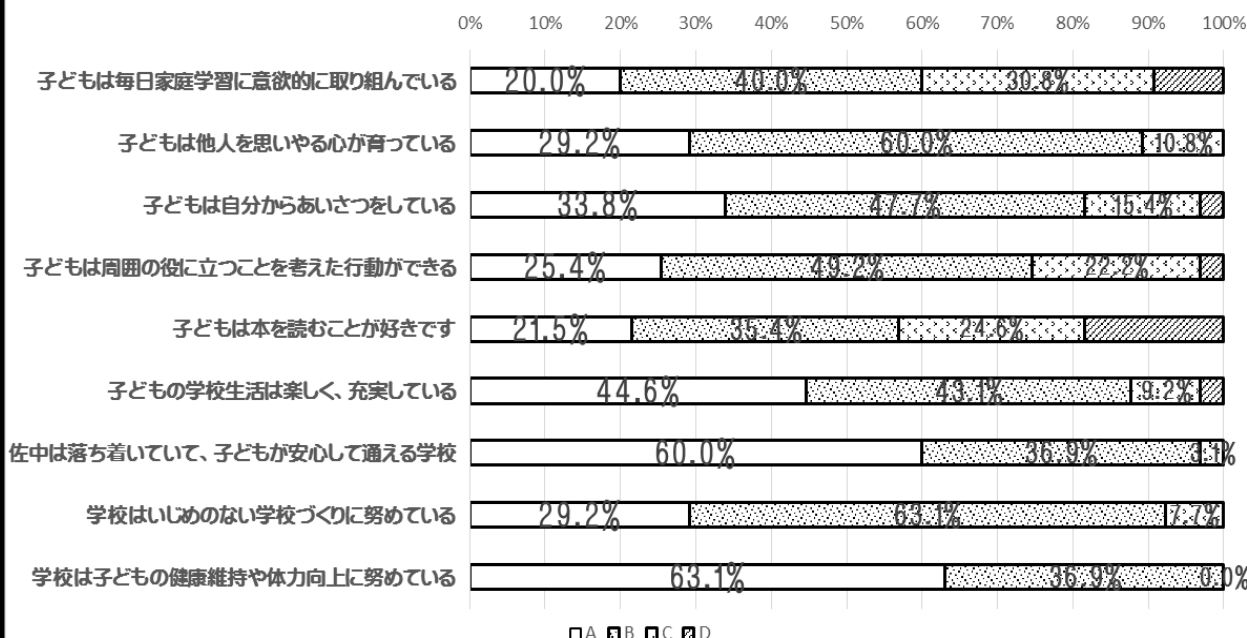
生徒と保護者の回答を比較できるように、ほぼ同じ項目を同じ順番で並べています。

平成30年度前期学校評価から（生徒の回答）

学校だより第6号
（9/6発行）の記事
を再掲しました。



H30年度前期学校評価から（保護者の回答）



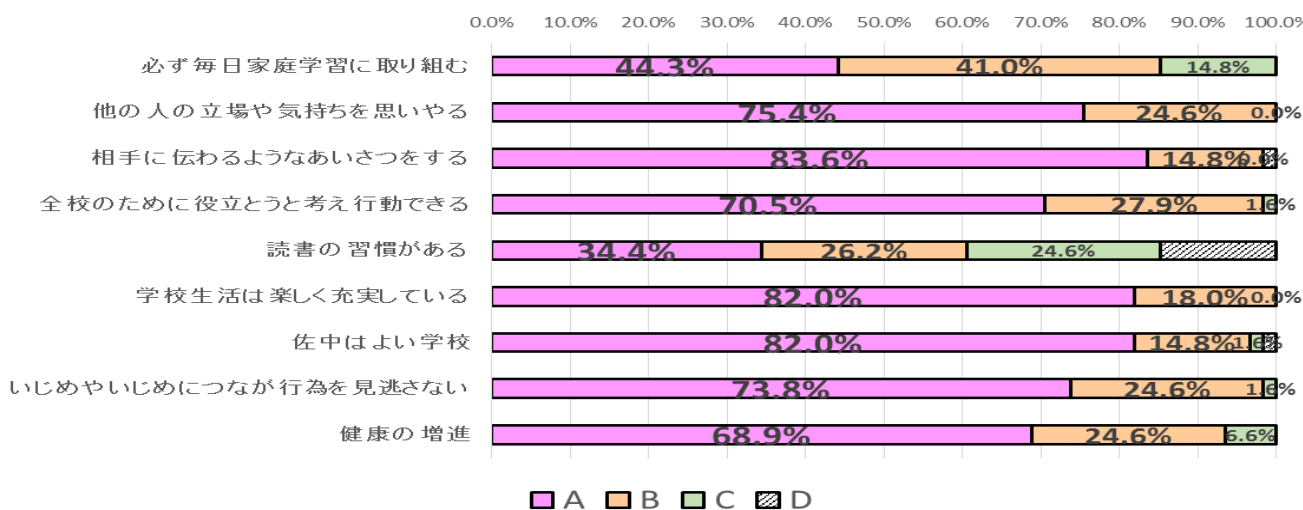
生徒の回答で肯定的評価の割合が高かったのは、「学校生活は楽しく充実している」と「健康の増進」でした。保護者の回答では、「中学校は落ち着いていて、安心して通える学校」と「学校は子どもの健康維持や体力向上に努めている」が好評価でした。

一方で、生徒の回答では、「毎日の家庭学習習慣」の肯定割合が低いですが、昨年度同時期の数値は18.3%でしたから、改善が見られています。保護者の回答と生徒の回答の両方で、「読書の習慣（読書が好き）」の肯定割合が低く、今後の改善すべき課題と考えています。

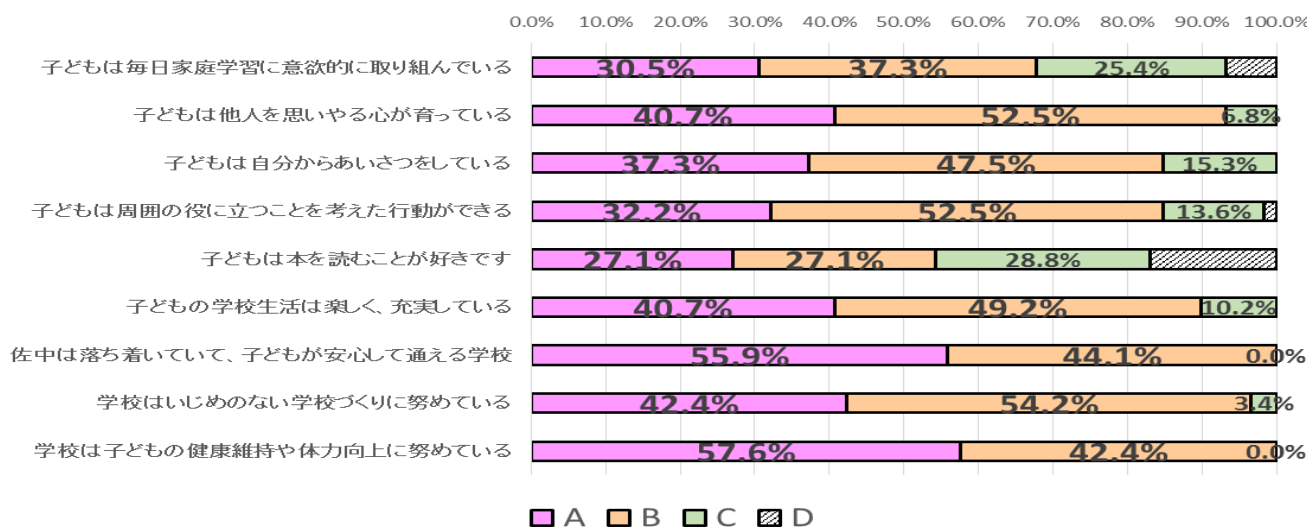
後期学校評価から 保護者と生徒の回答の比較から

保護者の皆さんから、昨年12月の「学校評価」にご協力をいただきありがとうございます。年2回（前期：7月、後期：12月）の学校評価の結果を参考にして、日々の教育活動の充実や学校運営の改善に役立てています。

H30年度後期学校評価から（生徒の回答）



H30年度後期学校評価から（保護者の回答）



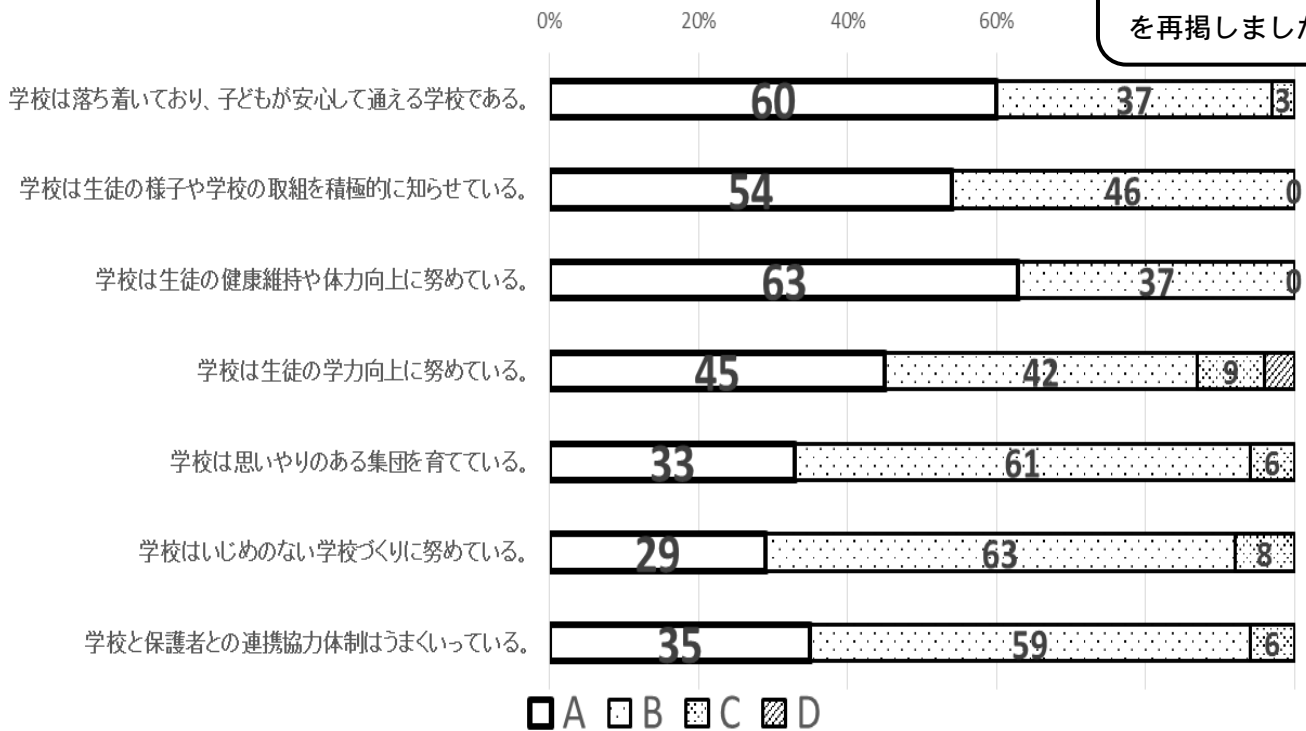
本年度の後期学校評価でも、高い肯定的評価をいただきました。生徒による「佐中はよい学校である」と「いじめにつながる行為を見逃さない」の回答が、後期結果ではさらに高い数値を収めました。保護者の皆さんの回答では、「思いやる心が育っている」や「学校はいじめのない学校づくりに努めている」の肯定的評価が前期と比べて大きな伸びを示しました。

保護者・生徒両方で、「毎日学習に（意欲的に）取り組む」で、前期よりもよい評価結果となりました。各家庭で、親子が共に「家庭学習の習慣化」に向けて取り組んでいただいている成果と捉えております。また、保護者の回答から、「子どもは周囲の役に立つことを考えた行動ができる」割合が、前期【25.4%】から後期【32.2%】へと高まりました。日々の学校生活を通して生徒が身に付けた自信やたくましさ、自分の周囲に目を向けることの出来る心の広さや寛容さとなって育まれてきたことへの評価と捉えております。

保護者、生徒両方の回答では、「健康維持や体力向上」の肯定的評価が若干低くなりました。昨年度以上に佐中サーキットトレーニングの取組が日常的に行われ、成果も上がってきております。今後、学校だより等で、体力増進の取組も積極的にお伝えしたいと考えております。

H30年度前期 学校の取組について(保護者からの回答)

学校だより第6号
(9/6 発行)の記事
を再掲しました。

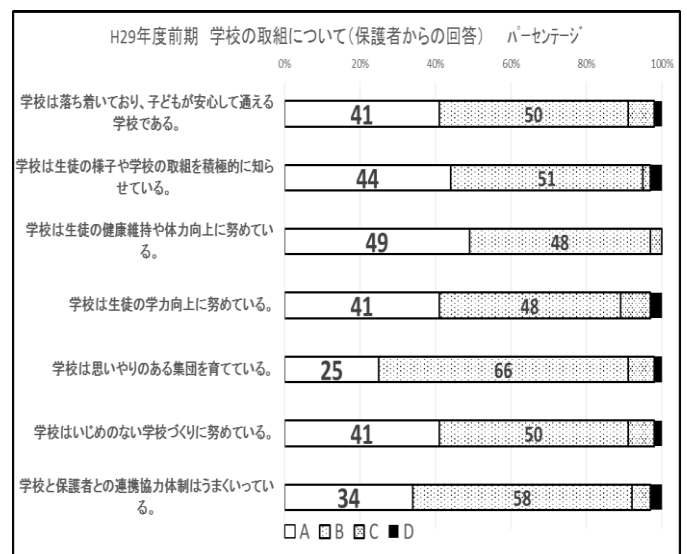


保護者の皆さんからの評価回答の一部を上
に紹介します。ほとんど全ての項目で A 評価
と B 評価の合計値が 90% を越える好評価と
なりました。「学力向上」や「いじめのない学
校づくり」では、保護者の皆さまの学校教育に
寄せる期待の大きさを再確認できました。

昨年度同時期の結果(右の小さいグラフ)と
比較しても、昨年度と同程度の評価をいただ
くことができました。これからも、保護者の皆
さんの期待に応えていけるように、家庭や地
域の声に耳を傾けながら、教育活動の充実に
努めて参ります。

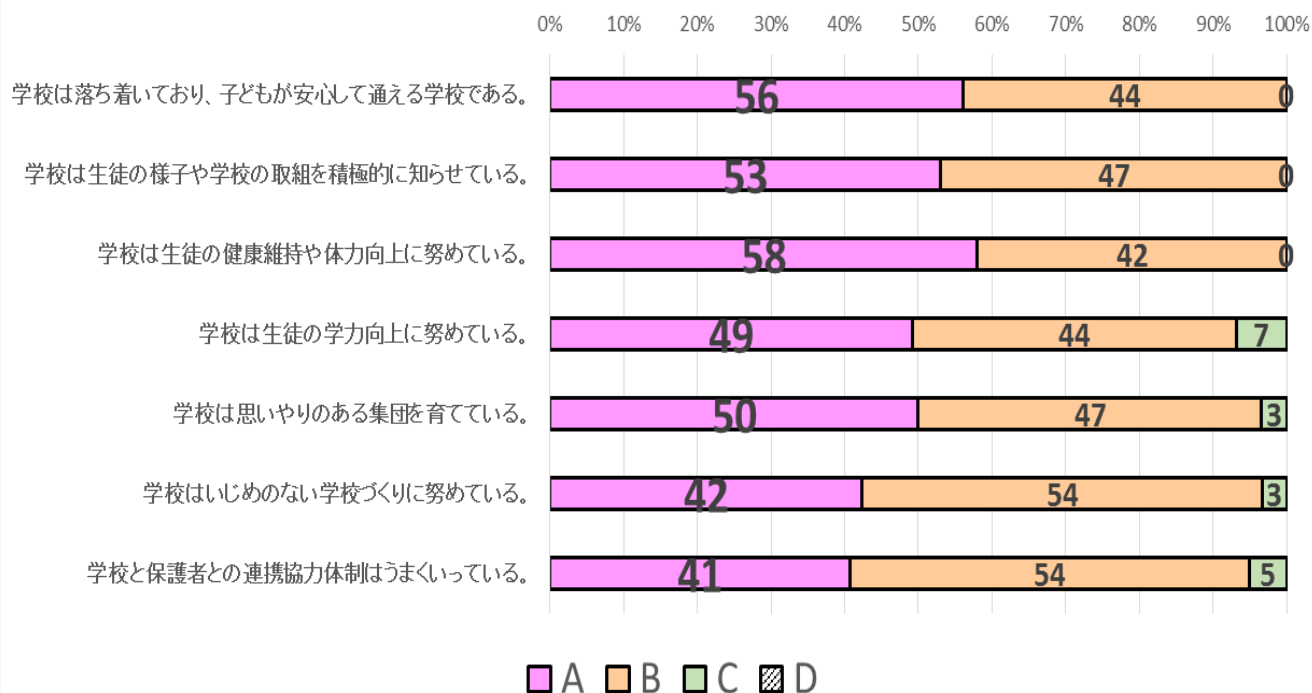
《保護者のみなさんの声》

- 中学校は、生徒の意見や考えをととても大切に考えてくれていると思います。
- 毎日、スマイルライフや自学ノートを点検してもらい、コメントまで書いてあり、よく見
てもらっているなあと感じています。これからもよろしくお願いします。
- きめ細かく指導をしてもらえて安心しています。子どもも学校生活(部活動)の話を楽し
そうにしてくれます。
- 生徒のモチベーションが上がるような取組がととてもいいと思います。そのおかげで、前向
きに物事に取り組む姿勢が身に付いて来ているように感じます。
- 学校だより等で学校生活を知ることができます。子どもも先生方を信頼し、満足している
ことが、家庭で話してくれる学校の様子からも感じられます。



後期学校評価から 「保護者のみなさんからの回答」

H30年度後期 学校の実践について(保護者からの回答) %

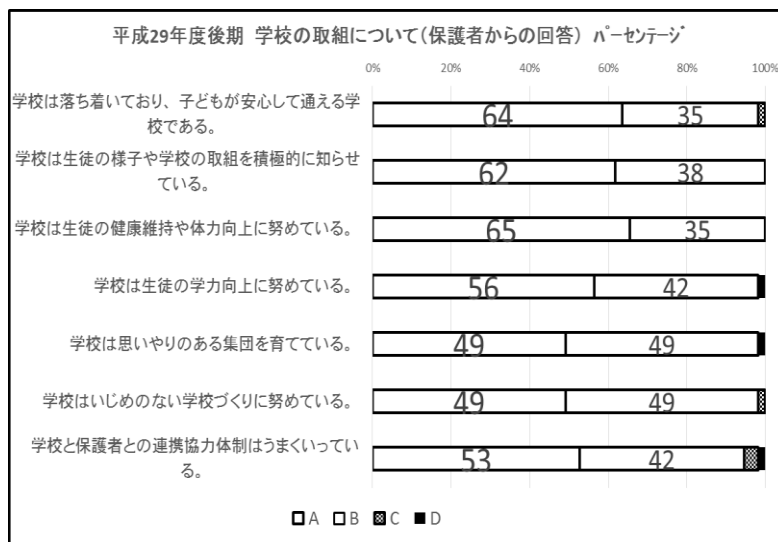


保護者の皆さんからいただいた評価回答の一部を上にご紹介します。全ての質問項目で A 評価と B 評価の合計値が 90% を越えました。本年度の佐々木中学校の様々な実践について、多くの保護者の皆さんから肯定的評価をいただくことができました。ありがとうございました。上記 7 つの項目の中でも特に、「学力の向上」「思いやりのある集団づくり」「いじめのない学校づくり」「学校と保護者との連携協力体制」で、前期の肯定的数値をさらに上回る結果を収めることができました。

右は「平成 29 年度後期」のアンケート結果です。昨年度も保護者の皆さんから高い評価をいただきました。今年度の結果からも、肯定的評価の割合が帯グラフのほとんどのスペースを占めていることが一目で分かります。昨年度や今年度の好評価に満足することなく、これからも、地域や保護者の皆さんに信頼していただける学校づくりに取り組んで参ります。ご指導・ご支援をお願いいたします。

《保護者のみなさんの声》

- 3年間とてもよい環境で充実した中学生活ができました。ありがとうございました。
- 学年だよりやホームページで学校生活が分かり、とてもよいです。
- ウオークラリー、小煮物づくりで中学生の真面目な姿が感じられ、心強く思いました。今後も地域住民が参加できる場や機会について、積極的な広報を期待しています。
- 佐々木中は生徒一人一人を大切に考えてくれて、安心して登校させております。
- 子どもの数が少なくなっている今、地域で子どもを育てるという役割の中で、学校の存在がますます大きなものになっていくと思います。



次年度生徒会役員が生徒会リーダー研修会に参加しました

昨年12月25日(火)、26日(水)の2日間、次年度生徒会役員の生徒会長と副会長の3名が、胎内市乙(きのと)にある新潟県少年自然の家で開催された「リーダー研修会」に参加しました。

佐々木中学校では、毎年、12月の生徒会役員選挙で当選した次期生徒会リーダーが参加しています。県内各地から同様の立場の生徒会役員が大勢集まるので、またとない情報交換、交流の機会です。参加した3名は2日間でどんな収穫があったのでしょうか。これからの生徒会活動が楽しみです。



2年 KM

リーダー研修会で、私は、佐々木中学校より全校生徒が少ない中学校のリーダーの活動が印象に残っています。私は、主に卒業式前に開催されるイベントなどについて話し合いました。そこで、在校生徒数は少ないながらも、3年生へ感謝の思いを伝えるために他学年と協力し、3年生に感動を与える機会を開いていることを知りました。佐々木中学校も在籍生徒数が少ないけれど、全校生徒でできることがまだまだたくさんあるのではないかと思います。他にも、初めて耳にする活動や、レベルの高い活動を知ることができました。たくさんのことを学ぶことができて、有意義な2日間の研修でした。

2年 NT

胎内市乙で開催されたリーダー研修会では、県内各地の中学校から生徒会リーダーが集まって来ていました。最初は、不安な気持ちもありましたが、他校のリーダーたちはとても社交性が高く、話し合いの時には、どんどん積極的に自分の考えや意見を話していました。他校の生徒会リーダーたちからいろいろなアイデアを聞くことができたので、一泊二日の研修で得た知識と共に過ごした体験を今後の生徒会活動で生かしていきたいと思います。

2年 KM

リーダー研修会は2日間の日程で行われました。1日目は、お互いの顔も名前もまだよく知らない人たちと過ごすことに大きな不安を感じていました。しかし、研修に参加しているみんながそれぞれの中学校の生徒会リーダーであるため、周囲の人がすぐに話しかけてくれて、仲良くなることができました。1日目から2日目にかけて、佐々木中学校生徒会として次年度取り組むことができる行事の企画をしました。他校で実際に行われている行事を参考に、時間をかけて考えました。そこで考えた企画を、今後の生徒会活動で実行できるようにしていきたいです。リーダー研修会では、友だちもでき、楽しく活動することができ、良かったです。他校が取り組んでいることを参考にしながら、佐々木中学校生徒会活動がより良くなるようにしていきます。

